

藤牧義夫文献リスト

2012年2月29日版

凡例

- ・本リストは、藤牧義夫が記し、または藤牧について記された出版物と、藤牧の作品を掲載した出版物を、1. 新版画集団刊行物、2. 展覧会図録・リーフレット、3. 単行書・全集、4. 逐次刊行物に分け、それぞれ発行順に記した。なお、和暦は西暦に改めた。
- ・藤牧の掲載作品（図版も含む）については、《掲載作品名》掲載頁として記した。
- ・1. 新版画集団刊行物については、編者『表題（表紙の表記）』発行年月日を記した。藤牧義夫に関する掲載論文や資料は【著者「論文／資料等」掲載頁】として記した。なお、【】内では、著者としての「藤牧義夫」は「藤牧」と記した。表題の表記が表紙と奥付で異なる場合は、【】内に奥付を記した。
- ・2. 展覧会図録・リーフレットについては、原則として、著者／編者『展覧会』図録／リーフレット、発行者、発行年[月日]（会期、会場）を記し、編集者や会場が発行者と同一の場合には、それらを省略した。また、続けて藤牧義夫に関する掲載論文や資料等を【著者「論文／資料等」掲載頁】として記した。
- ・3. 単行書・全集については、原則として、著者／編者『書名』発行者、発行年[月日]を記し、藤牧に関する部分が一部に限られる場合には、【著者「章／論文等」掲載頁】を記した。なお、章／論文等の著者が書籍の著者と同一の場合には、それを省略した。
- ・4. 逐次刊行物については、原則、『刊行物名』発行者、発行年[月日]を記し、掲載論文や記事を【著者「論文／記事等」掲載頁】として記した。ただし、上毛新聞社発行の『シャトル』と、書痴同人による『一寸』での連載は別途まとめて記した。
- ・5. 本文献リストは群馬県立館林美術館の伊羅子典代の協力を得て、神奈川県立近代美術館の長島彩音が編集した。

1. 新版画集団刊行物

※『新版画』第二号には、藤牧義夫に関する論文や資料、作品は掲載されていない。

關谷忠雄編『新版画』1、1932年6月20日

【《朝》頁無し、藤牧「朝」頁無し、奥付「『新版畫』No.1」】

『新版画』No.3、1932年8月10日

【《3. 都會風景》頁無し、奥付「第三号」】

關谷忠雄編『新版画』No.4 都市田園診断号、1932年9月15日

【《表紙》、《御徒町驛の附近で（御徒町驛）（東京夜曲 A）》、奥付「『新版畫』第四號 都市田園診断號」】

『新版画』V、1932年10月10日

【《1. 彼等の集り》頁無し、奥付「No.5 展覽會開催記念号」】

關谷忠雄編『新版画』No. VI 国立公園特輯号、1932年11月15日

【《やま・やま》17頁、水船・武藤六・柴・吉田・吉原・佐伯・藤牧・鈴木・小野・關谷「新版畫集團第一回展覽會合評」33-36頁、小野忠重「第一回新版畫集團展覽會批判」36-37頁、奥付「『新版畫』第六號 国立公園特輯號」】

關谷忠雄編『新版画』No.7 特輯＝演劇と映画＝、1933年1月1日

【《しねま》19頁、奥付「『新版畫』第七號 演劇と映畫特輯號」】

關谷忠雄編『quarterly 新版画』No. IX 一週年紀念号、1933年6月13日

【《島のぢいさん》27頁、《無題》《無題》《無題》《無題》《無題》35頁、《無題》《無題》36頁、奥付「『新版畫』第九号 一週年記念號」】

藤牧義夫編『季刊 新版画』X、1933年10月1日

【《ある一頁》頁無し、《鐵の橋》頁無し、奥付「『新版畫』第十號 第三回展覽會開催記念號」】

藤牧義夫編『季刊 新版画』No. XI 風俗鳥瞰號、1933年12月25日

【「銀行について」8頁、《銀行について》9頁、鈴木健夫「新版畫集團第三回展雜想」38-39頁、奥付「『新版畫』第十一號・現代風俗鳥瞰特輯」】

藤牧義夫編『新版画』No.12 第四回展記念号、1934年4月10日

【《つき》頁無し、奥付「12号、小品展記念號」】

新版畫雜誌部（藤牧・清水・堀）編『季刊 新版画』No. XIII 東京風景特輯号、1934年7月20日
【《ひょうぶ坂》頁無し、奥付「No. 13 東京風景特輯號」】

新版畫集團雜誌部（藤牧・清水・堀）編『新版画』No. 14、1934年11月1日
【《表紙》、《まくら橋》1頁】

新版畫集團雜誌部（藤牧・清水・堀）編『新版画』Nr. 15 賀状特輯、1935年1月1日
【《賀状》頁無し】

藤牧義夫編『新版画』都市貫流特輯号、1935年4月1日
【《白ひげ橋》15頁、《雪》17頁、《[無題]》38頁、藤牧「時代に生きよ時代を超ゑよ」39頁、《[無題]》40頁、藤牧「雪」40頁、藤牧「白ひげ橋」40頁、奥付「『新版畫』第十六號」】

清水正博編『新版画』No. 17 藤牧義夫特輯号、1935年7月1日
【《表紙》、《裏町》1頁、《川面》2頁、《五月》3頁、《彼岸》4頁、奥付「第十七號 藤牧義夫特輯」】

『賀状集 昭和八年』新版画集團、1933年1月28日
【《賀状》9頁、奥付「『賀状集 一九三三年』」】

『新版画 賀状集』新版畫集團、1934年2月5日
【《表紙》、《賀状》3頁】

關谷忠雄編『新版画 Leaflet』No. 1、1933年3月1日
【《都会（A）》3頁、《都会（B）》5頁、藤牧「版畫・版畫」6頁、《都会（C）》7頁、《都会（D）》8頁、《庭》9頁】

鈴木健夫編『新版画 Leaflet』No. 2、1933年11月23日
【《都會（その二）》6頁】

鈴木健夫編『新版画 Leaflet』No. 3、1934年6月1日
【藤牧義夫「作者の言葉」3頁】

2. 展覧会図録・リーフレット

『第拾四回美術展覧會陳列品目録』帝國美術院、1933年12月25日（東京府美術館、1933年10月16日～11月20日）

文部省編『帝國美術院美術展覧會圖録 第二部繪畫（西洋畫）』第十四回、画報社、1933年12月25日（東京府美術館、1933年10月16日～11月20日）

【《給油所》98頁】

『異端の画家たち 読売アンデパンダン十周年記念』読売新聞社、1958年2月4日（上野松坂屋、1958年2月4日～2月9日）

【中原佑介「年表」頁無し、《夕陽》頁無し、「(作家略歴)」頁無し、小野忠重「田中恭吉・藤牧義夫・谷中安規」頁無し】

『近代日本の版画』展出品目録、東京国立近代美術館、1967年（1967年5月20日～6月18日）

『近代日本の版画展』図録、奈良県立美術館、1974年9月21日（1974年9月21日～10月6日／他）

【「作家略歴」頁無し、《赤陽》頁無し】

『藤牧義夫』図録、かんらん舎、1978年1月17日（「藤牧義夫遺作版画展」かんらん舎、1978年1月17日～2月11日）

【小野忠重「回想の藤牧義夫」頁無し、《赤陽》《自画像》《出をまつ》《アドバルーン》《ひびき》《新議事堂》《墓（雪）初作》《鉄の橋》《白ひげ橋》《海》《郊外の道》《月》《彼らの集り》《清洲橋》《橋》《御徒町駅》《都会風景》《井の頭風景》《城沼の冬》《やまやま》《東照宮》《水辺》《上野東照宮》《風景》《工場》《雪》《銀行》《小品A》《小品B》《小品C》《小品D》《小品E》《墓（雪）完成作》《国会議事堂》《まくら橋》《街》、「藤牧義夫・年譜】

『郷土資料館開館記念 郷土の芸術家三人展——小室翠雲・藤野天光・藤牧義夫——』図録、館林市立図書館、1978年（郷土資料館、1978年11月1日 - 29日）

『1930年代の版画家たち 谷中安規と藤牧義夫を中心として』図録、神奈川県立近代美術館、1987年（1987年7月11日～8月16日）

【酒井忠康「序にかえて——1930年代の版画家たち」頁無し、水沢勉「藤牧義夫——その生涯と作品」頁無し、原田光「版画誌『白と黒』『版芸術』および『新版画』について」頁無し、「資料一Ⅱ 藤牧義夫 藤牧義夫の言葉」頁無し、「藤牧義夫年譜」頁無し、「谷中安規・藤牧義夫に関

する主要文献」頁無し】

『生誕 85 周年記念 藤牧義夫 その芸術の全貌』図録、館林市教育委員会、1995 年（1995 年 10 月 14 日～11 月 19 日、館林市第一資料館）

【水沢勉「楕円形の中心——藤牧義夫という芸術家」2 - 7 頁】

『近代版画にみる東京——移りゆく風景——』図録、1996 年（1996 年 7 月 30 日～9 月 16 日、東京都江戸東京博物館）

【水沢勉「ぬかるみの町——1930 年代の都市と版画、藤牧義夫のことなど」186 - 187 頁】

浜田拓志『美術館へいったよ！ コレクションに見る東京』リーフレット、和歌山県立近代美術館、1997 年 4 月 8 日（1997 年 4 月 8 日～5 月 11 日）

『モボ・モガ 1910 - 1935 展』図録、神奈川県立近代美術館、1998 年 5 月 17 日（1998 年 5 月 17 日～6 月 28 日／他）

『藤牧義夫』図録、小野忠重版画館、1999 年 9 月 25 日（1999 年 9 月 25 日～11 月 7 日）

【池内紀「藤牧義夫のこと」3 - 4 頁、水沢勉「《赤陽》残影」5 - 11 頁】

『開館記念特別展示 自然と人間』図録、群馬県立館林美術館、2001 年（2001 年 10 月 26 日 - 11 月 25 日）

『榊原氏ゆかり 四市交流美術展 郷土ゆかりの芸術家』図録、館林市教育委員会文化振興課、2001 年 11 月 1 日（館林市立資料館、2001 年 11 月 1 日～12 月 2 日）。

『日本の版画Ⅳ 1931 - 1940 棟方志功登場』千葉市美術館、2004 年（2004 年 8 月 31 日～10 月 3 日）

【加治幸子「『版画雑誌流行時代』は地方の時代」16 - 22 頁、西山純子「I 創作版画の諸相（1）版画誌のひろがり／『白と黒』と『新版画』／それぞれの成熟」41 頁、西山純子「作家解説抄」138 - 149 頁、西山純子「作品リスト」150 - 177 頁】

3. 単行書・全集

織田萌編『染織圖案變遷史』毛斯綸協會、1929年11月20日

【「現代圖案化畧傳之部」】

武藤完一編『創作版畫集』東邦社出版、1934年4月20日

【《給油所》4頁】

『綜合美術大系 第三卷 彫刻、版畫、漫畫篇』綜合美術研究所、1934年7月1日

【藤牧義夫「木版畫實習〔都會風景〕」、版畫實習（木版畫）1 - 4頁】

小野忠重『新理念版畫の技法』藝術學院出版部、1942年3月25日

【《雪後》頁無し、小野忠重「版畫史概要 四、日本の版画」75 - 89頁】

造型版畫協會編『版畫讀本』双林社、1942年7月20日

【《赤陽》口絵、清水正博「単色版畫の彫り方と刷り方」14 - 20頁、《街景》30頁】

恩地孝四郎『日本の現代版畫』創元社、1953年9月30日

【「現代版畫の芽生えとその成長」15 - 37頁、「藤牧義夫」68 - 69頁】

小野忠重『木版画 材料と技法』美術出版社、1956年11月15日

【《井の頭にて》60頁、《国会議事堂》版木写真）127頁】

小野忠重『版画アルバム』ダヴィッド社、1957年11月10日初版、1958年12月5日再版

【*《彫刻刀を握る手（第一回新版画集団展チラシ）》11頁、*《觀衆》23頁、*《墓（朝）》51頁、*《池》45頁、*《海》49頁、*《不忍池畔》49頁、*《雪》54頁、*《赤陽》62頁、*《ひゞき》63頁、*《橋》64頁】

*挿図にタイトル表記が無いため現在の作品名を記載。

小野忠重『現代版画の技法』ダヴィッド社、1956年2月1日

【《墓》32頁、《月》47頁挿図、《給油所》43頁、「絵本とポスター」158 - 162頁、「青春の残像」192 - 194頁、《ごみ》192頁】

小野忠重『版画——近代日本の自画像——』岩波書店、1961年3月20日

【《夕陽》口絵、「現代版画の明暗」205 - 241頁、《ごみ》233頁】

小野忠重『日本版画美術全集 第七巻 現代版画 I 明治—昭和』講談社、1962年3月10日
【《赤陽》69頁、《墓（夜）》84頁、《給油所》144頁、「谷中安規 藤牧義夫」195 - 198頁】

小野忠重『版画 見かた・作りかた』社会思想社、1964年1月30日
【「口絵解説」6 - 8頁、《塔》口絵、《墓》21頁】

小野忠重編『版画辞典』ダヴィッド社、1971年7月1日
【《映画館》80頁、《冬山》191頁、《雪の飛行》193頁、《雪だるま》195頁、《街》223頁、《給油所》232頁、《第一回新版画集團展覧会ポスター》252頁】

小野忠重『版画の魅力』新日本出版社、1971年7月30日
【「藤牧義夫 赤陽」333 - 334頁】

小野忠重『近代日本の版画——新芸術運動としての創作版画——』三彩社、1971年12月15日
【《都会風景》《ごみ》《ゆ》《彼らの集り》《月》《ある1ページ（戦争）》《墓・朝》口絵、「7 暗い谷間の絵本」83 - 97頁、《父の像》《赤陽》89頁、「作品目録抄」126 - 131頁、《自画像》《小野忠重》173頁】

小野忠重『趣味のたのしみ 版画入門』大日本図書、1974年12月10日
【《墓（夜）》49頁、「量産」95 - 97頁】

加藤順造編『近代日本版画大系』第2巻、毎日新聞社、1976年4月1日
【小野忠重「大正・昭和の版画 回想の創作版画運動」1 - 16頁、《舞台に出る》《塔》（現在の作品名は《あをば》）《赤陽》口絵、「収録作家紹介」273 - 284頁】

小倉忠夫『原色 現代日本の美術』第11巻 版画、小学館、1978年7月10日
【《都会風景》84頁、《赤陽》85頁、「86 都会風景」105頁、《ごみ》189頁、「87 赤陽」105頁、「第三章 昭和期の版画界」193 - 199頁、《白ひげ橋》197頁、「作家紹介」222頁 - 228頁】

『藤牧義夫——いしぶみによせて——』藤牧義夫版画碑建設協賛会、1978年7月13日
【大森孝三郎「建碑雑感」3頁、小野忠重「回想の藤牧義夫（抄）」4頁、F「碑が建つまでの経緯」5 - 6頁、荒井岳史郎「ぼくはもうどこへも行きません」6頁、長谷川吉弘編「年譜」7 - 10頁、「藤牧義夫参考文献」10頁】

小野忠重『版画の青春』形象社、1978年12月10日
【《給油所》口絵、「藤牧義夫・その出会いと別れ」265 - 274頁、《畠の風景》《寺》《御徒町駅付近》《アドバルーン》《やまやま》267頁、《城沼の冬》《都会風景》《墓・夜》269頁、《映画館》

271 頁、《出を待つ（レビューの女）》273 頁】

洲之内徹『帰りたい風景』新潮社、1980 年 11 月 30 日

【「中野坂上のおおろぎ」199 - 208 頁、《隅田川絵巻》202 - 205 頁】

庄田雪二『版画のいしぶみ 藤牧義夫伝』斉藤書店、1980 年 9 月 1 日

野口富士男『相生橋煙雨』文藝春秋、1982 年 6 月 5 日

【「相生橋煙雨」5 - 88 頁】

海野弘『都市風景の発見 日本のアヴァンギャルド芸術』求龍堂、1982 年 11 月 25 日

【《出をまつ》口絵、「藤牧義夫」80 - 94 頁】

『郷土の芸術家たち』館林市立図書館、1985 年 3 月 30 日

【《給油所》表紙、《赤陽》口絵、長谷川吉弘「藤牧義夫」229 - 255 頁】

洲之内徹『さらば気まぐれ美術館』新潮社、1988 年 3 月 20 日

【「夏も逝く」302 - 312 頁、《赤陽》302 頁、《赤陽》《赤陽》303 頁、「一之江・申孝園」313 - 323 頁】

鈴木貞美編『モダン都市文学X 都市の詩集』平凡社、1991 年 4 月 18 日

【水沢勉「藤牧義夫「月」（口絵解説）」】

五十殿利治・土肥義夫編『ロシア・アヴァンギャルド4 コンストルクツィア 構成主義の展開』国書刊行会、1991 年 8 月 30 日

【水沢勉「遠くかすかな残響——藤牧義夫の「小品 A - F」（一九三三年）」月報 5】

『武藤六郎版画集』、1991 年

【武藤六郎「新版画集団の思い出」】

窪島誠一郎『額のない絵——三十一人の画家の肖像』形文社、1993 年 7 月 30 日

【《赤陽》口絵 6 頁、「隅田川河畔に消えた画家 藤牧義夫」92 - 97 頁】

青木繁編『日本の近代美術 12 近代の版画』大月書店、1994 年 2 月 8 日

【岩切信一郎「藤牧義夫《赤陽》 都会は三角刀の交差線」113 - 116 頁、《赤陽》113 頁挿図、《都会風景》《工場のある風景》115 頁、《出をまつ》116 頁、岩切信一郎「藤牧義夫評伝 描くために彫るのだ」117 - 120 頁、《朝（自画像）》117 頁、《請地の夜》118 頁、《『新版画』第 4 号表紙》

《広告風船（アドバルーン）》119 頁、《新議事堂の裏庭》《橋梁（鉄の橋）120 頁》】

加治幸子編著『新版画集団展目録』（『版ニュース』4号別冊）、輝開、1998年7月

『あらかわ学会年次大会公演論文集』あらかわ学会事務局、1998年10月4日

【矢部明「版画家藤牧義夫・清水正博と隅田川」】

小林忠編『美術関係雑誌目次総覧 明治・大正・昭和戦前篇』上巻、国書刊行会、2000年5月10日

【『『新版画』目次』535 - 539 頁】

五十殿利治・水沢勉編『モダニズム／ナショナリズム』せりか書房、2003年1月30日

【水沢勉「藤牧義夫《白描絵巻》考 館林市立資料館所蔵《浜町公園の巻》（仮称）をめぐって」202 - 241 頁】

牧野將『赤陽物語 私説藤牧義夫論』新風舎、2003年12月5日

前田富士男編『伝統と象徴』沖積社、2003年5月6日

【水沢勉「《赤陽》誕生」275 - 295 頁、《赤陽》《赤陽》《『新版画』第4号表紙》《都会風景》374 頁】

加治幸子『創作版画誌の系譜 総目次および作品図版』中央公論美術出版、2008年1月30日

【「きつつき」426 - 429 頁、「新版画」665 - 690 頁、「新版画 Leaflet」807 - 809 頁】

百点美術館ほか編『美のおもちゃ箱 partⅡ』芸術現代社、2010年4月1日

【堀宜雄「藤牧義夫「つき」」40 - 41 頁】

大谷芳久『藤牧義夫 真偽』学藝書院、2010年11月8日

駒村吉重『君は隅田川に消えたのか——藤牧義夫と版画の虚実』講談社、2011年5月12日

群馬県立館林美術館、神奈川県立近代美術館編『生誕 100 年 藤牧義夫』求龍堂、2011年7月20日

ロジャー・パルバース著、坂野由紀子訳『もし、日本という国がなかったら』集英社インターナショナル、2011年12月20日

【「第13章 杉原千畝が世界に示したもの」256 - 257 頁】

4. 逐次刊行物

川上澄生編『きつつき』3 静物号、創作版画倶楽部、1931年6月28日

【藤森静雄選「第1回応募作品優作発表」裏表紙見返し、《朝霧》裏表紙見返し】

『版画 CLUB』第三年第一號、創作版畫俱樂部、1931年8月5日

【(きつつき一會員著)「新興版畫第一回展覽會批評」4頁】

『綜合美術研究』5、綜合美術研究所、1933年9月1日

【藤牧義夫「木版畫實習」頁無し、《橋梁》《廣告風船》《工場のある風景》《新議事堂の裏景》頁なし】

『浮世繪藝術』第二卷第十一号、1933年12月

【料治朝鳴「新版畫の歩む途」311 - 315頁、《顔》312頁】

『みづゑ』第347号、1934年1月3日

【深澤索一「新版畫集團第三回展評」80頁、《都會風景》頁なし】

『浮世繪藝術』第三卷第二号、浮世繪藝術社、1934年3月7日

【小野忠重「現代版畫の里程標—「サアカス」」47 - 48頁、*《鐵—版画編輯試作(8)》47頁】

*挿図にタイトル表記が無いため「生誕100年 藤牧義夫展」開催時に付された仮タイトルを記載。

『浮世繪藝術』第三卷第六号、浮世繪藝術社、1934年7月7日

【佐藤哲三「新版畫集團第四回展評」38 - 40頁、《夕陽》40頁】

『江戸と東京 名所風景版畫集』(『浮世繪藝術』第三卷第七号付録小冊子)、1934年8月5日

【*《夜の淺草六區》口絵、小野忠重「風景版畫の發展と現代」18 - 23頁、《上野附近》24頁、
「展覽版畫目錄」26 - 29頁】

*挿図にタイトル表記が無いため現在の作品名を記載。

『大日本』国柱会、1934年12月9日

【「精華會同人の新講座研鑽 新加入の同志を迎へ研究會いよく盛況」3面】

『大日本』国柱会、1935年1月14日

【「非常時の春に…きそひ起つ若人 精華會新年の初會合」3面】

『デッサン』第三號、1935年3月1日

【藤牧「國際飛行場にて」デッサン社りーふれっと 2頁、《國際飛行場》デッサン社りーふれっと 2頁】

『大日本』国柱会、1935年3月21日

【《昭和10年2月3日雪の日 日本国対新講座開始奏上 明治神宮大舉参拝の図》2面】

『日本版畫協會會報』No. 4、1935年10月

【「第四回日本版畫協會展覽會入選者氏名」4頁】

『日本版畫協會會報』No. 6、1936年1月

【「推薦作品」2 - 3頁】

『日本版畫協會會報』No. 8、1936年3月

【「消息」2頁】

『日本印刷需要家年鑑 昭和十一年度版』印刷出版研究所、1936年11月20日

【小野忠重「現代版畫の動向」153 - 156頁】

『美術手帖』第140号、1958年4月1日

【徳大寺公英「批評家の自己批判 「異端の画家たち」展を機に」61 - 65頁、《夕日》64頁】

『京葉市民新聞』1962年1月15日

【新井仲作「青年画家藤牧義夫について」】

『讀賣新聞』群馬版、1977年10月18日朝刊

【「若くして他界した無名の版画家 故藤牧義夫の真価 世に問う 来年一月、東京で個展 館林に碑建立の計画」21面】

『朝日新聞』群馬版、1977年10月19日朝刊

【「よみがえる奇才の版画 早逝した館林出身の藤牧さん 一月、東京で遺作展 城沼岬に記念碑 建立も」16面】

『上毛新聞』東毛版、1977年12月

【「若くして他界した藤牧さんの版画を市民に 館林 来月17日から遺作展」】

『藝術新潮』337号、1978年1月1日

【「早逝の画家たちIV 藤牧義夫遺作版画展」(かんらん舎広告)《赤陽》44頁】

『両毛春秋』第999号、1978年1月1日

【長谷川吉弘「館林が生んだ幻の版画家 二十四歳で死んだ藤牧義夫氏」8面】

『讀賣新聞』、1978年1月17日以前

【「“幻の版画家” 藤牧義夫をしのび 42年ぶり遺作展 館林】

『館林人』復刊第二号、1978年1月29日

【「グラビア・館林が生んだ芸術家たち 藤牧義夫」4-5頁、《城沼の冬》《若き日の藤牧義夫(写真)》《父の像》4頁、《街》《小野忠重先生を囲んで(写真)》《映画館》《ゆ》5頁、長谷川吉弘「館林が生んだ幻の版画家藤牧義夫」94-95頁、《赤陽》95頁】

『三彩』368号、1978年3月1日

【「都会に消えた星——藤牧義夫展」49頁、《白ひげ橋》《橋》《鉄の橋》《赤陽》49頁】

『讀賣新聞』群馬版、1978年3月12日朝刊

【「版画家藤牧義夫の全作品34点 東京国立近代美術館買い上げ」20面】

『みづゑ』877号、1978年4月

【小野忠重「回想の藤牧義夫 ある木版画家との出会いと別離」76-79頁、《てら》76頁、《赤陽》77頁、《出をまつ》78頁、《給油所》《橋》79頁】

『藝術新潮』第29巻第6号、1978年6月

【洲之内徹「気まぐれ美術館54 中野坂上のおおろぎ」110-117頁、《絵巻》112-114】

『上毛新聞』1978年7月14日

【「二十五歳で逝った版画の鬼才 「藤牧義夫碑」故郷の館林に 市民の心に刻め 城沼見おろす公演に」15面】

『現代の眼』308号、1980年7月

【小野忠重「藤牧義夫の「赤陽」(随筆・私の好きな一枚の絵)」7頁】

『朝日新聞』東京版、1980年7月7日朝刊

【「「墨堤」のよき時代45年ぶり“再現” 46メートルの隅田川絵巻公開へ」21面】

『季刊 すみだがわ』'80第6号、隅田川クラブ、1980年7月20日

【「⑦東京の川の展示会 隅田川コーナー」40 頁】

『讀賣新聞』全国版、1980 年 7 月 30 日夕刊

【「命かけた「隅田川絵巻」 不遇の鬼才・藤牧義夫の版画下絵大作公開」10 面】

『アサヒグラフ』2985 号、1980 年 8 月 8 日

【山田恒友「げに懐かしき隅田川 昭和 10 年 早世の天才画家が描いた長さ 46 メートルの大絵巻」58 - 62 頁、《隅田川絵巻》58 - 62 頁】

『季刊 すみだがわ』'80 第 7 号、隅田川クラブ、1980 年 12 月 1 日

【宮村忠「藤牧義夫が危惧した隅田川の風景」表紙見返し、「藤牧義夫画 隅田川絵巻 第一回 白鬚の巻」10 - 16 頁、小島惟孝「隅田川の沿岸図絵 北斎から藤牧まで」11 頁、岡住清「叔父・藤牧義夫のこと」16 - 17 頁、竜造寺一「ふるさとを訪ねて」17 - 18 頁】

『季刊 すみだがわ』'81 第 8 号、隅田川クラブ、1981 年 2 月 15 日

【竜造寺一「藤牧義夫画 隅田川絵巻 第二回 商科大学向島艇庫から三囲神社まで」13 - 21 頁、小島惟孝「解説」15 - 21 頁】

『季刊 すみだがわ』'81 第 9 号、隅田川クラブ、1981 年 4 月 30 日

【編集部「藤牧義夫画 隅田川絵巻 第三回 ある庭園（実際には画題なし）」13 - 17 頁、小野忠重「隅田川を描いた人たち 浮世絵の頃から藤牧義夫まで」18 - 25 頁】

『朝日新聞』東京版、1981 年 5 月 30 日朝刊

【「「隅田川絵巻」が縁結び 不遇の版画家藤牧氏しのび来月七日に交歓会 東京の隅田川ファンと館林のアマ美術家集団」20 面】

『讀賣新聞』群馬版、1981 年 6 月 3 日朝刊

【「“鬼才” が取り持つ交歓会 失踪の版画家 藤牧義夫」21 面】

『讀賣新聞』東京版、1981 年 6 月 4 日朝刊

【「「隅田川絵巻」復刻へ “幻の版画家” の大作 香気豊か、高い評価」20 面】

『朝日新聞』群馬版、1981 年 6 月 8 日朝刊

【「「藤牧研究」さらに推進へ 館林と東京隅田川の芸術グループ 遺族らも交え交歓会」17 面】

『上毛新聞』1981 年 7 月 27 日

【「館林出身の故藤牧氏 帝展入選の「給油所」オークション寸前に入手 代表作 ふるさとへ」

14 面】

『季刊 すみだがわ』'81 第 10 号、隅田川クラブ、1981 年 9 月 25 日

【「藤牧義夫画 隅田川絵巻 第四回 浜町公園から相生橋まで」13 - 19 頁、長谷川吉弘「藤牧義夫と水」13 - 16 頁、編集部「連載を終えて」17 - 19 頁】

『季刊アート』1981 年 12 月

【海野弘「続・モダンスタイル再訪⑥／藤牧義夫」93 - 99 頁、《アドバルーン》《自画像》93 頁、《出をまつ》94 頁、《赤陽》95 頁、《隅田川絵巻》96 頁、《郊外の道》《鉄の橋》97 頁、《橋》98 頁、《白ひげ橋》99 頁】

『文學界』第 36 巻第 1 号、文藝春秋、1982 年 1 月 1 日

【野口富士男「相生橋煙雨」26 - 55 頁】

『上毛新聞』1982 年 6 月 4 日

【「隅田川クラブ招き 13 日に交歓会 館林・もっぶの会」16 面】

『上毛新聞』1982 年 6 月 17 日

【「幻の版画家しのぶ 館林 隅田川クラブと交歓会」14 面】

『まいにち 館林・邑楽特集』No. 25、1985 年 8 月 1 日

【「館林が生んだ版画の鬼才 50 年で見直される “藤牧版画、 作品保存・研究進める「もっぶの会」」1 面】

『別冊太陽』No. 54、1986 年 6 月 25 日

【洲之内徹「藤牧義夫 隅田川絵巻」67 - 98 頁】

『現代の眼』386 号、1987 年 1 月 1 日

【《赤陽》表紙、藤井久栄「藤牧義夫の版画——《赤陽》について」2 - 3 頁、《橋》《都会風景》3 頁】

『東都よみうり』1987 年 1 月 3 日

【「隅田川絵巻物語〈上〉」8 面】

『東都よみうり』1987 年 1 月 16 日

【「隅田川絵巻物語〈中 - 1〉」2 面】

『東都よみうり』1987年1月23日
【「隅田川絵巻物語〈中-2〉」4面】

『東都よみうり』1987年2月13日
【「隅田川絵巻物語〈下〉」4面】

『讀賣新聞』1987年8月14日夕刊
【(川)「[美術] 版画定着、格闘のあかし「一九三〇年代の版画家たち」展」7面】

『芸術新潮』第38巻第10号、1987年10月1日
【洲之内徹「気まぐれ美術館164 夏も逝く」103-107頁、《赤陽》《赤陽》104頁、《赤陽》105頁】

『讀賣新聞』、1987年11月1日朝刊
【芥川喜好「[日本の四季] 藤牧義夫「赤陽」叫ぶように 必死の軌跡」29面（日曜版1面）】

『芸術新潮』第38巻第11号、1987年11月1日
【洲之内徹「気まぐれ美術館165 一之江・申孝園」91-93頁】

『真世界』11月号、1987年11月1日
【田中車一郎「藤牧義夫画「隅田川絵巻」のこと 夭折の天才画家が描いた五十三年前の申孝園」36-42頁】

『讀賣新聞』1989年8月28日夕刊
【(川)「[美術] 時代の軌跡鮮やか／東京国立近代美術館「昭和の美術」展」13面】

『産経新聞』東京版、1990年3月6日朝刊
【加藤聖子「隅田川ふたたび1 幻の画家、水底へ？」21面】

『朝日新聞』群馬版、1991年8月9日朝刊
【「(とっておきの旅) 版画家・藤牧義夫ゆかりの地を歩く 館林、隅田川水辺の風景」22面】

『神奈川大学図書館だより』1991年10月
【水沢勉「行方をしらず——版画家藤牧義夫のこと」】

『東京都美術館紀要』No. 16、1992年3月30日
【加藤弘子「〈資料紹介〉藤牧義夫関係資料——三岳画集・隅田川両岸絵巻・清水正博氏宛書簡」

1 - 20 頁】

『足立史談』第 290 号、1992 年 4 月

【浅香武和「埋もれた版画家蓬田兵衛門 (1)」2 - 3 頁】

『朝日新聞』1992 年 9 月 25 日夕刊

【(三)「(絵画) 歴史的な町の変化の中、作者の視線の変化探る「都市風景の発見」展」11 面】

『すみだ川』No. 11、1993 年 4 月 15 日

【清水正博「版画家 藤牧義夫の思い出」】

『讀賣新聞』1993 年 10 月 23 日夕刊

【「〈アート〉「日本近代版画の歩み」展」7 面】

『Libellus』12、1993 年 11 月 25 日

【水沢勉「唄いつつゆく 1 ——藤牧義夫、ある版画家の生きた時代」18 - 25 頁】

『Libellus』13、1994 年 1 月 25 日

【水沢勉「唄いつつ行く 2 館林の空」14 - 19 頁】

『美術館ニュース』No. 440、東京都美術館、1994 年 2 月 15 日

【加藤弘子「藤牧義夫の伝記について」4 - 5 頁、《風景 (うらまち)》4 頁、《朝霧》《墓 (雪)》5 頁】

『東京都美術館紀要』18 号、1994 年 2 月

【加治幸子「『新版画』の総目次及び総図版」22 - 43 頁】

『Libellus』14、1994 年 3 月 25 日

【水沢勉「唄いつつ行く 3 父親の影」20 - 25 頁】

『Libellus』15、1994 年 5 月 25 日

【水沢勉「唄いつつ行く 4 画家の誕生」34 - 39 頁】

『上州路』No. 243、1994 年 7 月

【長谷川吉弘「24 歳杳として行方知れず」】

『Libellus』16、1994 年 7 月 25 日

【水沢勉「唄いつつ行く 5 東京での暮らし」6 - 11 頁】

『毎日新聞』群馬版、1994 年 8 月 25 日朝刊

【「館林市出身の版画家・藤牧義夫さん、遺作の「観音像」見つかる」22 面】

『毎日新聞』群馬版、1994 年 9 月 22 日朝刊

【「館林出身 “幻の版画家” 藤牧義夫さんの「観音像」、おいが市に寄託」26 面】

『朝日新聞』群馬版、1995 年 9 月 30 日朝刊

【「生誕 85 周年特別展 館林出身の版画家藤牧義夫 未公開含む 120 点展示 館林市第一資料館」26 面】

『上毛新聞』1995 年 10 月 4 日

【「郷土の芸術家に光 14 日から館林 藤牧義夫の特別展」16 面】

『毎日新聞』群馬版、1995 年 10 月 10 日朝刊

【「故郷・館林で特別展 近代版画家の異才・藤牧義夫の生誕 85 周年 棟方志功らと並ぶ評価」28 面】

『毎日新聞』栃木版、1995 年 10 月 13 日朝刊

【「[両毛を語る] 画家・下川勝さん (45) 館林市花山町」23 面】

『毎日新聞』栃木版、1995 年 10 月 20 日朝刊

【「[ぶらり両毛] 藤牧義夫の全容展示 未公開作を含め 120 点 館林」27 面】

『上毛新聞』1995 年 10 月 20 日

【「来月 19 日まで藤牧義夫展 生誕 85 周年で顕彰 唯一の油絵も展示 館林」16 面】

『讀賣新聞』群馬版 A、1995 年 11 月 16 日朝刊

【「藤牧義夫の“原点”か 父・巳之七の作品埼玉で発見」28 面】

『近代画説』第 4 号、明治美術学会、1995 年 12 月 2 日

【水沢勉「藤牧義夫と《隅田川絵巻》(1934~1935) を中心に」94 - 95 頁】

『讀賣新聞』1996 年 4 月 1 日朝刊

【紀田順一郎、清水哲男、黒崎政男、香山リカ「[マルチ読書ネットワーク] 青の会議室 松本哉 著「すみだ川を渡った花嫁」7 面】

『春秋』383号、1996年11月

【水沢勉「終わらない夏—藤牧義夫と洲之内徹」、5 - 7 頁】

『版の繪』第4号（特集「新版画集団の記録」）、小野忠重版画館、1996年12月15日

【今井圭介「新版画集団の軌跡を追って」頁無し、水沢勉編「新版画集団の記録 1932～1936」頁無し】

『朝日新聞』1998年5月21日夕刊

【田中三蔵「(美術) 読み直す都市化の「夢」の跡 「モボ・モガ 1910-1935」展」11面】

『國文学 解釈と教材の研究』第44巻10号、1999年8月10日

【水沢勉「白鬚橋三題——1930年代の視覚の問題から」36 - 40 頁】

『版画芸術』第105号、1999年9月1日

【水沢勉「光の断面として——藤牧義夫の版について」107 - 115 頁、《つき》《つき》108 頁、《給油所》《墓（夜）》《井の頭風景》109 頁、《赤陽》111 頁、《白ひげ橋》《出を待つ（レビューの女）》《うみ》《鉄の橋》112 頁、《出をまつ》113 頁、《エノケンの魔術師》114 頁】

『版の繪』第8号（特集 藤牧義夫と新版画集団）、小野忠重版画館、1999年10月8日

【水沢勉「藤牧義夫——最後の輝き」頁無し、水沢勉編「藤牧義夫と新版画集団 1932～1935」頁無し】

『毎日新聞』群馬版、2000年1月13日朝刊

【松本時夫「富岡で移動ギャラリー 21日から「版画の世界」テーマに 近代美術館」20面】

明治美術学会編『近代画説』9、2000年12月9日

【大谷芳久「藤牧義夫版画《赤陽》疑義」19 - 56 頁】

『毎日新聞』群馬版、2001年1月18日朝刊

【三木陽介「新美術館の名称は「県立館林美術館」 10月中旬にオープン予定」27面】

『讀賣新聞』都民版、2001年2月16日朝刊

【江里口友子「[江戸博蔵めぐり] 御徒町駅—東京夜曲A」35面】

『讀賣新聞』都民版、2001年7月1日朝刊

【加藤弘子「[水辺のモダン展] ⑤「隅田川両岸画卷」」33面】

『朝日新聞』2001年8月3日夕刊

【田中三蔵「(美術)鑑賞者との関係性 模索する試み 「水辺のモダン」展と富岡美術館夏季展」13面】

『上毛新聞』2001年8月31日

【「10月開館の県立館林美術館 藤牧義夫の版画飾る」16面】

『毎日新聞』群馬版、2001年10月7日朝刊

【平田睦夫「[21世紀・群馬の100人] 79 美術界のニューリーダー・下川勝さん」25面】

『毎日新聞』群馬版、2001年11月28日朝刊

【平田睦夫「出身芸術家の54点 榊原家ゆかり四市交流美術展 館林市第一資料館」25面】

東京都現代美術館編『東京都現代美術館紀要』第7号(2001年度)、東京都現代美術館、2002年3月31日

【加藤弘子「藤牧義夫《隅田川両岸絵巻》に関するノート(その1)」4-9頁】

『日本経済新聞』長野版、2002年5月11日夕刊

【「(インフォメーション) 藤牧義夫遺作展、他」3面】

東京都現代美術館編『東京都現代美術館紀要』第8号(2002年度)、東京都現代美術館、2003年3月31日

【加藤弘子「藤牧義夫《隅田川両岸絵巻》に関するノート(承前)」15-20頁】

『n・e・w・s』第13号、2003年2月13日

【浜崎礼二「表紙解説 藤牧義夫[1911~1935?]'「島のぢいさん」(『新版画』第9号所収)】

『毎日新聞』群馬版、2003年11月5日朝刊

【杉本修作「日本の版画より ころの花」8日から、高崎市美術館」24面】

『版画研究会・会報』vol. 14、2004年8月1日

【水沢勉「第88回 《赤陽》問題」(版画研究会活動内容[第83回~第88回]講義概要)8-9頁】

『朝日新聞』2004年8月18日夕刊

【田中三蔵「(美術)多様化の流れから未来へ「日本の木版画100年展」」4面】

『彷徨月刊』2004年9月号（通巻228号）、2004年8月25日

【山田俊幸「贗物草子 [連載 21] 藤牧義夫の《魔》 その壺」54 - 56 頁】

『日本経済新聞』全国版、2004年8月31日朝刊

【黒崎彰「創作版画のパイオニア十選（6）小野忠重「空罐（浮浪者たち）」」40 面】

『彷徨月刊』2004年10月号（通巻229号）2004年9月25日

【山田俊幸「贗物草子 [連載 22] 藤牧義夫の《魔》 その貳」56 - 58 頁】

『讀賣新聞』都民版、2005年2月8日朝刊

【大谷省吾「[近代美術の東京] 藤牧義夫「赤陽」 見る者包む夕日の光」33 面】

『毎日新聞』東京版、2006年9月5日朝刊

【「遊ぶ：ぶらり NHK 日曜美術館 30 年展」21 面】

『讀賣新聞』都民版、2007年12月20日朝刊

【桜井雅夫「[とうきょう異聞]「隅田川の橋」はいくつか」33 面】

『朝日新聞』群馬版、2009年4月10日朝刊

【戸梶雄一「(ぶらりふらり) 館林美術館 田園と一体、モダンな姿」30 面】

『日本経済新聞』全国版、2009年5月3日朝刊

【「モダン東京 1930 年代の夢（上）復興の帝都にあふれる光（美の美）」16 面】

『上毛新聞』2010年9月14日

【牧野將「視点 未完の日本画⑥ 版画の絵巻化を構想】

『芸術新潮』第62巻第1号（通巻733号）、2011年1月25日

【「藤牧義夫と捏造者Xの「献身、」99 - 103 頁、《赤陽》99 頁、《隅田川両岸画卷》第四巻 100 頁、《赤陽》《赤陽》101 頁、《城沼の冬》《城沼の冬》《鉄の橋》《鉄の橋》102 頁、《父の像》103 頁】

『讀賣新聞』2011年4月26日東京夕刊

【「美術館連絡協議会特集「画家の20歳」から刺激を 学芸員らの情熱が結実」夕特 A（15）面】

『上毛新聞』2011年6月12日朝刊

【山本和弘「君は隅田川に消えたのか（駒村義重著） 捏造めぐる藤牧義夫の謎」10面】

『讀賣新聞』2011年6月27日東京朝刊

【「[どれどれどーれ] 美連協ガイド」朝特A(19)面】

『日本経済新聞』全国版、2011年7月9日夕刊

【「(月刊がいどガイドワイド) 永遠の華宵展、生誕100年藤牧義夫展、他」4面】

『讀賣新聞』群馬版、2011年7月14日東京朝刊

【「生誕100年 藤牧義夫展(社告)＝群馬」群馬2(32)面】

『讀賣新聞』群馬版、2011年7月17日東京朝刊

【「版画家・藤牧義夫 館林で生誕100年展＝群馬」群馬西(27)面】

『讀賣新聞』群馬版、2011年8月4日東京朝刊

【松下由里「[生誕100年 藤牧義夫展](上)「つき」＝群馬」群馬2面】

『讀賣新聞』群馬版、2011年8月5日東京朝刊

【松下由里「[生誕100年 藤牧義夫展](中)「赤陽」＝群馬」群馬2面】

『讀賣新聞』群馬版、2011年8月6日東京朝刊

【松下由里「[生誕100年 藤牧義夫展](下)「白描絵巻」＝群馬」群馬2面】

『朝日新聞』全国版、2011年8月17日夕刊

【「(美の履歴書:216)「赤陽」藤牧義夫 なぜ夕日は謎をはらむ」夕刊 de 水曜1面】

『讀賣新聞』2011年8月25日東京朝刊

【「失踪の版画家 深まる謎 生誕100年 藤牧義夫展」文化(21)面】

『シャトル』上毛新聞社

第 347 号、1995 年 10 月 15 日

【「館林出身の藤牧義夫 未公開作品含め 120 点 生誕 85 周年記念の特別展 来月 19 日まで館林」2 面】

第 371 号、1995 年 11 月 12 日

【「19 日まで藤牧義夫展 窪島誠一郎さん（信濃デッサン館館長）に聞く」1 面】

第 377 号、1995 年 11 月 19 日

【「ふるさと自慢 100 選 館林 藤牧義夫」8 面】

第 1186 号、1998 年 7 月 1 日

【「失そうの版画家・藤牧義夫「ふるさとスケッチ展」1 - 2 面】

第 1186 号、1998 年 7 月 1 日

【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《1》 夜店開業（大正末期作）」8 面】

第 1187 号、1998 年 7 月 2 日

【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《2》 町の夏祭り（大正末）」8 面】

第 1188 号、1998 年 7 月 3 日

【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《3》 尾曳神社の夏祭り（大正末）」8 面】

第 1189 号、1998 年 7 月 4 日

【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《4》 下町の七夕祭り（大正末）」8 面】

第 1190 号、1998 年 7 月 5 日

【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《5》 開山忌（大正末）」8 面】

第 1191 号、1998 年 7 月 7 日

【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《6》 仲秋名月（大正末期作）」8 面】

第 1192 号、1998 年 7 月 8 日

【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《7》 宗粗（大正末期作）」8 面】

第 1193 号、1998 年 7 月 9 日

【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《8》 館林城・千貫橋付近（模写）（大正末期作）」8 面】

第 1194 号、1998 年 7 月 10 日

【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《9》 館林城下御殿（大正末期）」8 面】

第 1195 号、1998 年 7 月 11 日

【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《10》 本丸と千貫門（大正末期）」8 面】

第 1196 号、1998 年 7 月 12 日

【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《11》 三ノ丸物見ヨリ本丸ヲ望ム（大正末期）」8 面】

第 1197 号、1998 年 7 月 14 日

【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《12》 伊奈良尋常高等小学校 南より（大正 15 秋）」8 面】

第 1198 号、1998 年 7 月 15 日

- 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《13》 伊奈良尋常高等小学校（昭和元年夏）」8面】
第1199号、1998年7月16日
- 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《14》 伊奈良校（昭和元年）」8面】
第1200号、1998年7月17日
- 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《15》 伊奈良校裏（昭和元年）」8面】
第1201号、1998年7月18日
- 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《16》 中野村尋常高等小学校（大正末）」7面】
第1202号、1998年7月19日
- 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《17》 中野小学校全景（大正末）」8面】
第1203号、1998年7月22日
- 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《18》 中野村尋常小学校（大正末）」8面】
第1204号、1998年7月23日
- 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《19》 郷谷村尋常高等小学校（大正末）」7面】
第1205号、1998年7月24日
- 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《20》 郷谷校（大正末）」8面】
第1206号、1998年7月25日
- 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《21》 渡瀬尋常高等小学校 西の入り口（大正15年11月26日）」8面】
第1207号、1998年7月26日
- 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《22》 三野谷尋常高等小学校 前庭西側より（昭和元年）」7面】
第1208号、1998年7月28日
- 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《23》 三野谷尋常高等小学校 補修学校・青年訓練所（昭和元年）」8面】
第1209号、1998年7月29日
- 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《24》 千江田校正門入口（昭和元年）」8面】
第1210号、1998年7月30日
- 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《25》 館林登記所 代官町（昭和元年）」8面】
第1211号、1998年7月31日
- 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《26》 館林登記所（昭和元年）」8面】
第1212号、1998年8月1日
- 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《27》 渡瀬尋常高等小学校 南ノ入口（昭和元年）」8面】
第1213号、1998年8月2日
- 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《28》 三野谷尋常高等小学校（昭和元年）」8面】
第1214号、1998年8月4日
- 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《29》 三野谷校 前庭東側より（昭和元年）」8面】

- 第 1215 号、1998 年 8 月 5 日
 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《30》 千江田校 裏西側より（昭和元年）」8面】
- 第 1216 号、1998 年 8 月 6 日
 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《31》 登記所跡 現館林農産物協同出荷場（昭和元年）」8面】
- 第 1217 号、1998 年 8 月 7 日
 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《32》 巳之七愛蔵観音像（大正末期）」7面】
- 第 1218 号、1998 年 8 月 8 日
 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《33》 藤牧家（大正 15 年）」8面】
- 第 1219 号、1998 年 8 月 9 日
 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《34》 藤牧家（大正 15 年）」8面】
- 第 1220 号、1998 年 8 月 11 日
 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《35》 尾曳神社より望む（大正 15 年 6 月）」8面】
- 第 1221 号、1998 年 8 月 12 日
 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《36》 尾曳稲荷神社北（大正 15 年 7 月）」8面】
- 第 1222 号、1998 年 8 月 13 日
 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《37》 尾曳神社側面（大正 15 年 8 月作）」8面】
- 第 1223 号、1998 年 8 月 14 日
 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《38》 尾曳神社に於ける父（大正 15 年）」8面】
- 第 1224 号、1998 年 8 月 15 日
 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《39》 雷電神社の影（大正 15 年）」8面】
- 第 1225 号、1998 年 8 月 16 日
 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《40》 雷電神社側面（大正 15 年）」8面】
- 第 1226 号、1998 年 8 月 18 日
 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《41》 小林屋二階より雷電神社を望む（大正 15 年）」8面】
- 第 1227 号、1998 年 8 月 19 日
 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《42》 板倉雷電神社（大正 15 年）」8面】
- 第 1228 号、1998 年 8 月 20 日
 【岡住清「藤牧義夫 ふるさとスケッチ《43》 雷電神社・八坂祭（大正 15 年）」8面】
- 第 2158 号、2001 年 9 月 1 日
 【「県立館林美術館 10 月 26 日開館」1 面、4 - 5 面】
- 第 4220 号、2008 年 8 月 1 日 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 1 はじめに 一」8面】
- 第 4221 号、2008 年 8 月 2 日 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 2 はじめに 二」8面】
- 第 4222 号、2008 年 8 月 3 日 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 3 はじめに 三」8面】
- 第 4223 号、2008 年 8 月 4 日 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 4 はじめに 四」8面】
- 第 4224 号、2008 年 8 月 5 日 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 5 はじめに 五」8面】

- 第 4225 号、2008 年 8 月 6 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 6 「たか」と「まさ」一」8 面】
- 第 4226 号、2008 年 8 月 8 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 7 「たか」と「まさ」二」8 面】
- 第 4227 号、2008 年 8 月 9 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 8 「たか」と「まさ」三」8 面】
- 第 4228 号、2008 年 8 月 10 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 9 父・巳之七 一」8 面】
- 第 4229 号、2008 年 8 月 11 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 10 父・巳之七 二」8 面】
- 第 4230 号、2008 年 8 月 12 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 11 父・巳之七 三」8 面】
- 第 4231 号、2008 年 8 月 13 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 12 父・巳之七 四」8 面】
- 第 4232 号、2008 年 8 月 15 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 13 少年時代 一」8 面】
- 第 4233 号、2008 年 8 月 16 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 14 少年時代 二」8 面】
- 第 4234 号、2008 年 8 月 17 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 15 少年時代 三」8 面】
- 第 4235 号、2008 年 8 月 18 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 16 少年時代 四」8 面】
- 第 4236 号、2008 年 8 月 19 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 17 少年時代 五」8 面】
- 第 4237 号、2008 年 8 月 20 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 18 少年時代 六」8 面】
- 第 4238 号、2008 年 8 月 22 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 19 少年時代 七」7 面】
- 第 4239 号、2008 年 8 月 23 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 20 少年時代 八」8 面】
- 第 4240 号、2008 年 8 月 24 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 21 少年時代 九」8 面】
- 第 4241 号、2008 年 8 月 25 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 22 少年時代 十」8 面】
- 第 4242 号、2008 年 8 月 26 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 23 少年時代 十一」8 面】
- 第 4243 号、2008 年 8 月 27 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 24 車崎治平先生 一」8 面】
- 第 4244 号、2008 年 8 月 29 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 25 車崎治平先生 二」8 面】
- 第 4245 号、2008 年 8 月 30 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 26 車崎治平先生 三」8 面】
- 第 4246 号、2008 年 8 月 31 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 27 車崎治平先生 四」8 面】
- 第 4247 号、2008 年 9 月 1 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 28 父・巳之七の死 一」8 面】
- 第 4248 号、2008 年 9 月 2 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 29 父・巳之七の死 二」8 面】
- 第 4249 号、2008 年 9 月 3 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 30 三岳全集・画集 一」8 面】
- 第 4250 号、2008 年 9 月 5 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 31 三岳全集・画集 二」8 面】
- 第 4251 号、2008 年 9 月 6 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 32 三岳全集・画集 三」8 面】
- 第 4252 号、2008 年 9 月 7 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 33 三岳全集・画集 四」8 面】
- 第 4253 号、2008 年 9 月 8 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 34 三岳全集・画集 五」8 面】
- 第 4254 号、2008 年 9 月 9 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 35 三岳全集・画集 六」8 面】
- 第 4255 号、2008 年 9 月 10 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 36 藤牧分福堂」8 面】
- 第 4256 号、2008 年 9 月 12 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 37 4 人の姉 一」8 面】
- 第 4257 号、2008 年 9 月 13 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 38 4 人の姉 二」8 面】
- 第 4258 号、2008 年 9 月 14 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 39 4 人の姉 三」8 面】
- 第 4259 号、2008 年 9 月 15 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 40 4 人の姉 四」8 面】
- 第 4260 号、2008 年 9 月 16 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 41 4 人の姉 五」8 面】
- 第 4261 号、2008 年 9 月 19 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 42 4 人の姉 六」7 面】

第 4262 号、2008 年 9 月 20 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	43	修業時代 一」	8 面】
第 4263 号、2008 年 9 月 21 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	44	修業時代 二」	8 面】
第 4264 号、2008 年 9 月 22 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	45	修業時代 三」	8 面】
第 4265 号、2008 年 9 月 23 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	46	修業時代 四」	8 面】
第 4266 号、2008 年 9 月 24 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	47	修業時代 五」	8 面】
第 4267 号、2008 年 9 月 26 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	48	修業時代 六」	8 面】
第 4268 号、2008 年 9 月 27 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	49	修業時代 七」	8 面】
第 4269 号、2008 年 9 月 28 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	50	修業時代 八」	8 面】
第 4270 号、2008 年 9 月 29 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	51	修業時代 九」	8 面】
第 4271 号、2008 年 9 月 30 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	52	修業時代 十」	8 面】
第 4272 号、2008 年 10 月 1 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	53	修業時代 十一」	8 面】
第 4273 号、2008 年 10 月 3 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	54	凶案の仕事 一」	8 面】
第 4274 号、2008 年 10 月 4 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	55	凶案の仕事 二」	8 面】
第 4275 号、2008 年 10 月 5 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	56	凶案の仕事 三」	8 面】
第 4276 号、2008 年 10 月 6 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	57	凶案の仕事 四」	8 面】
第 4277 号、2008 年 10 月 7 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	58	新版画集団 一」	8 面】
第 4278 号、2008 年 10 月 8 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	59	新版画集団 二」	8 面】
第 4279 号、2008 年 10 月 10 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	60	新版画集団 三」	8 面】
第 4280 号、2008 年 10 月 11 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	61	新版画集団 四」	8 面】
第 4281 号、2008 年 10 月 12 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	62	新版画集団 五」	8 面】
第 4282 号、2008 年 10 月 13 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	63	新版画集団 六」	8 面】
第 4283 号、2008 年 10 月 15 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	64	新版画集団 七」	8 面】
第 4284 号、2008 年 10 月 17 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	65	新版画集団 八」	7 面】
第 4285 号、2008 年 10 月 18 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	66	新版画集団 九」	8 面】
第 4286 号、2008 年 10 月 19 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	67	新版画集団 十」	8 面】
第 4287 号、2008 年 10 月 20 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	68	新版画集団 十一」	8 面】
第 4288 号、2008 年 10 月 21 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	69	給油所 一」	8 面】
第 4289 号、2008 年 10 月 22 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	70	給油所 二」	8 面】
第 4290 号、2008 年 10 月 24 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	71	給油所 三」	8 面】
第 4291 号、2008 年 10 月 25 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	72	給油所 四」	8 面】
第 4292 号、2008 年 10 月 26 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	73	給油所 五」	8 面】
第 4293 号、2008 年 10 月 27 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	74	給油所 六」	8 面】
第 4294 号、2008 年 10 月 28 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	75	給油所 七」	8 面】
第 4295 号、2008 年 10 月 29 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	76	給油所 八」	8 面】
第 4296 号、2008 年 10 月 31 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	77	給油所 九」	8 面】
第 4297 号、2008 年 11 月 1 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	78	給油所 十」	8 面】
第 4298 号、2008 年 11 月 2 日【牧野將「館林拾記	藤牧義夫の光	79	稜線光法 一」	8 面】

- 第 4299 号、2008 年 11 月 3 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 80 稜線光法 二」8 面】
- 第 4300 号、2008 年 11 月 4 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 81 稜線光法 三」8 面】
- 第 4301 号、2008 年 11 月 5 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 82 稜線光法 四」8 面】
- 第 4302 号、2008 年 11 月 7 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 83 赤陽 一」8 面】
- 第 4303 号、2008 年 11 月 8 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 84 赤陽 二」8 面】
- 第 4304 号、2008 年 11 月 9 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 85 赤陽 三」8 面】
- 第 4305 号、2008 年 11 月 11 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 86 赤陽 四」8 面】
- 第 4306 号、2008 年 11 月 12 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 87 赤陽 五」8 面】
- 第 4307 号、2008 年 11 月 14 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 88 面の研究 一」8 面】
- 第 4308 号、2008 年 11 月 15 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 89 面の研究 二」8 面】
- 第 4309 号、2008 年 11 月 16 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 90 面の研究 三」8 面】
- 第 4310 号、2008 年 11 月 17 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 91 面の研究 四」8 面】
- 第 4311 号、2008 年 11 月 18 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 92 面の研究 五」8 面】
- 第 4312 号、2008 年 11 月 19 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 93 面の研究 六」8 面】
- 第 4313 号、2008 年 11 月 21 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 94 面の研究 七」7 面】
- 第 4314 号、2008 年 11 月 22 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 95 表現主義 二」8 面】
- 第 4315 号、2008 年 11 月 23 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 96 表現主義 三」8 面】
- 第 4316 号、2008 年 11 月 24 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 97 表現主義 四」8 面】
- 第 4317 号、2008 年 11 月 25 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 98 表現主義 五」8 面】
- 第 4318 号、2008 年 11 月 26 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 99 表現主義 六」8 面】
- 第 4319 号、2008 年 11 月 28 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 100 表現主義 七」8 面】
- 第 4320 号、2008 年 11 月 29 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 101 表現主義 八」8 面】
- 第 4321 号、2008 年 11 月 30 日【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 102 表現主義 九」8 面】
- 第 4433 号、2009 年 4 月 21 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 1 《絵巻 隅田川》一 後編の始まり」8 面】
- 第 4434 号、2009 年 4 月 22 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 2 《絵巻 隅田川》二 藤牧の絵巻 (1)」8 面】
- 第 4435 号、2009 年 4 月 24 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 3 《絵巻 隅田川》三 藤牧の絵巻 (2)」8 面】
- 第 4436 号、2009 年 4 月 25 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 4 《絵巻 隅田川》四 絵巻の寸法」8 面】
- 第 4437 号、2009 年 4 月 26 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 5 《絵巻 隅田川》五 絵巻の名前 (1)」8 面】
- 第 4438 号、2009 年 4 月 27 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 6 《絵巻 隅田川》六 絵巻の名前 (2)」8 面】
- 第 4439 号、2009 年 4 月 28 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 7 《絵巻 隅田川》七 絵巻の名前 (3)」8 面】

第 4440 号、2009 年 4 月 29 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 8 《絵巻 隅田川》八 絵巻の名前 (4) 8 面】

第 4441 号、2009 年 5 月 1 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 9 《絵巻 隅田川》九 絵巻の名前 (5) 8 面】

第 4442 号、2009 年 5 月 2 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 10 《絵巻 隅田川》十 絵巻について (1) 8 面】

第 4443 号、2009 年 5 月 3 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 11 《絵巻 隅田川》十一 絵巻について (2) 8 面】

第 4444 号、2009 年 5 月 4 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 12 《絵巻 隅田川》十二 絵巻について (3) 8 面】

第 4445 号、2009 年 5 月 5 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 13 《絵巻 隅田川》十三 第一巻 申孝園の巻 (1) 8 面】

第 4446 号、2009 年 5 月 6 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 14 《絵巻 隅田川》十四 第一巻 申孝園の巻 (2) 8 面】

第 4447 号、2009 年 5 月 8 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 15 《絵巻 隅田川》十五 第一巻 申孝園の巻 (3) 8 面】

第 4448 号、2009 年 5 月 9 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 16 《絵巻 隅田川》十六 第一巻 申孝園の巻 (4) 8 面】

第 4449 号、2009 年 5 月 10 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 17 《絵巻 隅田川》十七 第一巻 申孝園の巻 (5) 8 面】

第 4450 号、2009 年 5 月 11 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 18 《絵巻 隅田川》十八 第一巻 申孝園の巻 (6) 8 面】

第 4451 号、2009 年 5 月 12 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 19 《絵巻 隅田川》十九 第一巻 申孝園の巻 (7) 8 面】

第 4452 号、2009 年 5 月 13 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 20 《絵巻 隅田川》二十 第一巻 申孝園の巻 (8) 8 面】

第 4453 号、2009 年 5 月 15 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 21 《絵巻 隅田川》二十一 第一巻 申孝園の巻 (9) 7 面】

第 4454 号、2009 年 5 月 16 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 22 《絵巻 隅田川》二十二 第一巻 申孝園の巻 (10) 8 面】

第 4455 号、2009 年 5 月 17 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 23 《絵巻 隅田川》二十三 第一巻 申孝園の巻 (11) 8 面】

第 4456 号、2009 年 5 月 18 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 24 《絵巻 隅田川》二十四 第一巻 申孝園の巻 (12) 8 面】

第 4457 号、2009 年 5 月 19 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 25 《絵巻 隅田川》二十五 第一巻 申孝園の巻 (13) 8 面】

第 4458 号、2009 年 5 月 20 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 26 《絵巻 隅田川》二十六 第一巻 申孝園の巻 (14) 8 面】

第 4459 号、2009 年 5 月 22 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 27 《絵巻 隅田川》二十七 第一巻 申孝園の巻 (15) 8 面】

第 4460 号、2009 年 5 月 23 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 28 《絵巻 隅田川》二十八 第一巻 申孝園の巻 (16) 8 面】

第 4461 号、2009 年 5 月 24 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 29 《絵巻 隅田川》二十九 第一巻 申孝園の巻 (17) 8 面】

第 4462 号、2009 年 5 月 25 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 30 《絵巻 隅田川》三十 第一巻 申孝園の巻 (18) 8 面】

第 4463 号、2009 年 5 月 26 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 31 《絵巻 隅田川》三十一 第一巻 申孝園の巻 (19) 8 面】

第 4464 号、2009 年 5 月 27 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 32 《絵巻 隅田川》三十二 第一巻 申孝園の巻 (20) 8 面】

第 4465 号、2009 年 5 月 29 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 33 《絵巻 隅田川》三十三 第一巻 申孝園の巻 (21) 8 面】

第 4466 号、2009 年 5 月 30 日

- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 34 《絵巻 隅田川》三十四 第一巻 申孝園の巻 (22)」
8面】
第 4467 号、2009 年 5 月 31 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 35 《絵巻 隅田川》三十五 第一巻 申孝園の巻 (23)」
8面】
第 4468 号、2009 年 6 月 1 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 36 《絵巻 隅田川》三十六 第一巻 申孝園の巻 (24)」
8面】
第 4469 号、2009 年 6 月 2 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 37 《絵巻 隅田川》 37 第一巻 申孝園の巻 (25)」
8面】
第 4470 号、2009 年 6 月 3 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 38 《絵巻 隅田川》 38 第一巻 申孝園の巻 (26)」
8面】
第 4471 号、2009 年 6 月 5 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 39 《絵巻 隅田川》 39 第一巻 申孝園の巻 (27)」
8面】
第 4472 号、2009 年 6 月 6 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 40 《絵巻 隅田川》 40 第一巻 申孝園の巻 (28)」
8面】
第 4473 号、2009 年 6 月 7 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 41 《絵巻 隅田川》 41 第一巻 申孝園の巻 (29)」
8面】
第 4474 号、2009 年 6 月 8 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 42 《絵巻 隅田川》 42 第一巻 申孝園の巻 (30)」
8面】
第 4475 号、2009 年 6 月 9 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 43 《絵巻 隅田川》 43 第一巻 申孝園の巻 (31)」
8面】
第 4476 号、2009 年 6 月 10 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 44 《絵巻 隅田川》 44 第一巻 申孝園の巻 (32)」
8面】
第 4477 号、2009 年 6 月 12 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 45 《絵巻 隅田川》 45 第一巻 申孝園の巻 (33)」
8面】
第 4478 号、2009 年 6 月 13 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 46 《絵巻 隅田川》 46 第一巻 申孝園の巻 (34)」

- 8面】
第4479号、2009年6月14日
【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編47 《絵巻 隅田川》47 第一巻 申孝園の巻(35) 8面】
- 第4480号、2009年6月16日
【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編48 《絵巻 隅田川》48 第一巻 申孝園の巻(36) 8面】
- 第4481号、2009年6月17日
【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編49 《絵巻 隅田川》49 第一巻 申孝園の巻(37) 8面】
- 第4482号、2009年6月19日
【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編50 《絵巻 隅田川》50 第一巻 申孝園の巻(38) 7面】
- 第4483号、2009年6月20日
【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編51 《絵巻 隅田川》51 第一巻 申孝園の巻(39) 8面】
- 第4484号、2009年6月21日
【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編52 《絵巻 隅田川》52 第一巻 申孝園の巻(40) 8面】
- 第4485号、2009年6月22日
【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編53 《絵巻 隅田川》53 第一巻 申孝園の巻(41) 8面】
- 第4486号、2009年6月23日
【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編54 《絵巻 隅田川》54 第一巻 申孝園の巻(42) 8面】
- 第4487号、2009年6月24日
【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編55 《絵巻 隅田川》55 第一巻 申孝園の巻(43) 8面】
- 第4488号、2009年6月26日
【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編56 《絵巻 隅田川》56 第一巻 申孝園の巻(44) 8面】
- 第4489号、2009年6月27日
【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編57 《絵巻 隅田川》57 第一巻 申孝園の巻(45) 8面】
- 第4490号、2009年6月28日
【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編58 《絵巻 隅田川》58 第一巻 申孝園の巻(46) 8面】

第 4491 号、2009 年 6 月 29 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 59 《絵巻 隅田川》 59 第二巻 白鬚の巻 (1) 8 面】

第 4492 号、2009 年 6 月 30 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 60 《絵巻 隅田川》 60 第二巻 白鬚の巻 (2) 8 面】

第 4493 号、2009 年 7 月 1 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 61 《絵巻 隅田川》 61 第二巻 白鬚の巻 (3) 8 面】

第 4494 号、2009 年 7 月 3 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 62 《絵巻 隅田川》 62 第二巻 白鬚の巻 (4) 8 面】

第 4495 号、2009 年 7 月 4 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 63 《絵巻 隅田川》 63 第二巻 白鬚の巻 (5) 8 面】

第 4496 号、2009 年 7 月 5 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 64 《絵巻 隅田川》 64 第二巻 白鬚の巻 (6) 8 面】

第 4497 号、2009 年 7 月 6 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 65 《絵巻 隅田川》 65 第二巻 白鬚の巻 (7) 8 面】

第 4498 号、2009 年 7 月 7 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 66 《絵巻 隅田川》 66 第二巻 白鬚の巻 (8) 8 面】

第 4499 号、2009 年 7 月 8 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 67 《絵巻 隅田川》 67 第二巻 白鬚の巻 (9) 8 面】

第 4500 号、2009 年 7 月 10 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 68 《絵巻 隅田川》 68 第二巻 白鬚の巻 (10) 8 面】

第 4501 号、2009 年 7 月 11 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 69 《絵巻 隅田川》 69 第二巻 白鬚の巻 (11) 8 面】

第 4502 号、2009 年 7 月 12 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 70 《絵巻 隅田川》 70 第三巻 向島艇庫の巻 (1) 8 面】

第 4503 号、2009 年 7 月 13 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 71 《絵巻 隅田川》 71 第三巻 向島艇庫の巻 (2) 8 面】

第 4504 号、2009 年 7 月 14 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 72 《絵巻 隅田川》 72 第三巻 向島艇庫の巻 (3) 8 面】

第 4505 号、2009 年 7 月 15 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 73 《絵巻 隅田川》 73 第三巻 向島艇庫の巻 (4) 8 面】

第 4506 号、2009 年 7 月 17 日

- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 74 《絵巻 隅田川》 74 第三巻 向島艇庫の巻 (5) 7面】
第 4507 号、2009 年 7 月 18 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 75 《絵巻 隅田川》 75 第三巻 向島艇庫の巻 (6) 8面】
第 4508 号、2009 年 7 月 19 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 76 《絵巻 隅田川》 76 第三巻 向島艇庫の巻 (7) 8面】
第 4509 号、2009 年 7 月 20 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 77 《絵巻 隅田川》 77 第三巻 向島艇庫の巻 (8) 8面】
第 4510 号、2009 年 7 月 22 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 78 《絵巻 隅田川》 78 第三巻 向島艇庫の巻 (9) 8面】
第 4511 号、2009 年 7 月 24 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 79 《絵巻 隅田川》 79 第四巻 浜町公園の巻 (1) 8面】
第 4512 号、2009 年 7 月 25 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 80 《絵巻 隅田川》 80 第四巻 浜町公園の巻 (2) 8面】
第 4513 号、2009 年 7 月 26 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 81 《絵巻 隅田川》 81 第四巻 浜町公園の巻 (3) 8面】
第 4514 号、2009 年 7 月 27 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 82 《絵巻 隅田川》 82 第四巻 浜町公園の巻 (4) 8面】
第 4515 号、2009 年 7 月 28 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 83 《絵巻 隅田川》 83 第四巻 浜町公園の巻 (5) 8面】
第 4516 号、2009 年 7 月 29 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 84 《絵巻 隅田川》 84 第四巻 浜町公園の巻 (6) 8面】
第 4517 号、2009 年 7 月 31 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 85 《絵巻 隅田川》 85 第四巻 浜町公園の巻 (7) 8面】
第 4518 号、2009 年 8 月 1 日
- 【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 86 《藤牧義夫と日本画》 1」 8面】

第 4519 号、2009 年 8 月 2 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 87 《藤牧義夫と日本画》2」8 面】

第 4520 号、2009 年 8 月 3 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 88 《藤牧義夫と日本画》3」8 面】

第 4521 号、2009 年 8 月 4 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 89 《藤牧義夫と日本画》4」8 面】

第 4522 号、2009 年 8 月 5 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 90 《藤牧義夫と日本画》5」8 面】

第 4523 号、2009 年 8 月 7 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 91 《藤牧義夫と日本画》6」7 面】

第 4524 号、2009 年 8 月 8 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 92 《藤牧義夫と日本画》7」8 面】

第 4525 号、2009 年 8 月 9 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 93 《藤牧義夫と日本画》8」8 面】

第 4526 号、2009 年 8 月 10 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 94 《藤牧義夫と日本画》9」8 面】

第 4527 号、2009 年 8 月 11 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 95 《藤牧義夫と日本画》10」8 面】

第 4528 号、2009 年 8 月 12 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 96 《藤牧義夫と日本画》11」8 面】

第 4529 号、2009 年 8 月 14 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 97 《藤牧義夫と日本画》12」8 面】

第 4530 号、2009 年 8 月 15 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 98 《藤牧義夫と日本画》13」8 面】

第 4531 号、2009 年 8 月 16 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 99 《藤牧義夫と日本画》14」8 面】

第 4532 号、2009 年 8 月 18 日

【牧野將「館林拾記 藤牧義夫の光 後編 100 《藤牧義夫と日本画》15」8 面】

2011 年 7 月 31 日

【牧野將「藤牧義夫と田山花袋 ～上～ 40 歳差の隣人関係 花袋の本友人に形見分け」3 面】

2011 年 8 月 7 日

【牧野將「藤牧義夫と田山花袋 ～下～ 影響した写生文 構図、題名の参考に」3 面】

『一寸』書痴同人

第2号、2000年5月1日

【大谷芳久「残されたひとやま—藤牧版画の後摺りについて1」8-12頁】

第3号、2000年8月1日

【大谷芳久「残されたひとやま—藤牧版画の後摺りについて2」6-11頁】

第4号、2000年11月1日

【大谷芳久「残されたひとやま《鉄の橋》—藤牧版画の後摺りについて3」8-13頁】

第5号、2001年1月30日

【大谷芳久「藤牧義夫の《赤陽》」9-14頁】

第6号、2001年4月30日

【大谷芳久「残されたひとやま《新議事堂》—藤牧版画の後摺りについて4」9-14頁】

第7号、2001年7月30日

【大谷芳久「残されたひとやま《アドバルーン》—藤牧版画の後摺りについて5」8-12頁】

第8号、2001年10月30日

【大谷芳久「残されたひとやま《清洲橋》—藤牧版画の後摺りについて6」9-15頁】

第9号、2002年1月30日

【大谷芳久「江戸日本橋浜町貳ノ十一番地」昭和二年春 藤牧義夫 十六歳」9-15頁】

第10号、2002年4月30日

【大谷芳久「残されたひとやま《彼等の集り》—藤牧版画の後摺りについて7」11-16頁】

第11号、2002年8月20日

【大谷芳久「残されたひとやま《給油所》(その1)—藤牧版画の後摺りについて8」10-15頁】

第12号、2002年10月30日

【大谷芳久「残されたひとやま《給油所》(その2)—藤牧版画の後摺りについて8」10-15頁】

第13号、2003年1月30日

【大谷芳久「残されたひとやま《給油所》(その3)—藤牧版画の後摺りについて8」9-14頁】

第14号、2003年4月30日

【大谷芳久「残されたひとやま《給油所》(その4)—藤牧版画の後摺りについて8」10-14頁】

第16号、2003年10月30日

【大谷芳久「残されたひとやま《つき》(その1)—藤牧版画の後摺りについて9」16-22頁】

第17号、2004年2月15日

【大谷芳久「残されたひとやま《つき》(その2)—藤牧版画の後摺りについて9」11-20頁】

第18号、2004年5月20日

【大谷芳久「残されたひとやま《つき》(その3)—藤牧版画の後摺りについて9」11-18頁】

第19号、2004年8月20日

【大谷芳久「残されたひとやま《つき》(その4)—藤牧版画の後摺りについて9」11-17頁】

第20号、2004年11月10日

【岩切信一郎『新版画』用語考」10 - 14 頁、大谷芳久「そして《赤陽》が生まれる」14 - 22 頁】
第 21 号、2005 年 2 月 20 日

【大谷芳久「残されたひとやま《川岸》—藤牧版画の後摺りについて 10」10 - 17 頁】
第 22 号、2005 年 4 月 30 日

【大谷芳久「残されたひとやま《井の頭風景》—藤牧版画の後摺りについて 11」17 - 29 頁】
第 23 号、2005 年 7 月 30 日

【大谷芳久「《朝霧》と昭和五年作問題（その 1）—藤牧版画の後摺りについて 12」11 - 17 頁】
第 24 号、2005 年 11 月 10 日

【大谷芳久「《朝霧》と昭和五年作問題（その 2）—藤牧版画の後摺りについて 12」13 - 24 頁】
第 25 号、2006 年 2 月 20 日

【大谷芳久「《朝霧》と昭和五年作問題（その 3）—藤牧版画の後摺りについて 12」11 - 19 頁】
第 26 号、2006 年 5 月 20 日

【大谷芳久「《朝霧》と昭和五年作問題（その 4）—藤牧版画の後摺りについて 12」12 - 22 頁】
第 27 号、2006 年 8 月 15 日

【大谷芳久「《城沼の冬》—藤牧版画の後摺りについて 13」12 - 19 頁】
第 28 号、2006 年 10 月 30 日

【大谷芳久「《夜の浅草六區》—藤牧版画の後摺りについて 14」14 - 21 頁】
第 29 号、2007 年 1 月 30 日

【大谷芳久「《出を待つ永井智子（マルグレット）》—藤牧版画の後摺りについて 15」17 - 26 頁】
第 30 号、2007 年 4 月 30 日

【大谷芳久「白描絵巻と『新版画』所収作—藤牧版画の後摺りについて 16」15 - 22 頁】
第 31 号、2007 年 8 月 15 日

【大谷芳久「行方不明後の《藤牧版画》の足跡（1）—藤牧版画の後摺りについて 17」14 - 21 頁】
第 32 号、2007 年 11 月 10 日

【大谷芳久「行方不明後の《藤牧版画》の足跡（2）—藤牧版画の後摺りについて 17」16 - 23 頁】
第 33 号、2008 年 2 月 15 日

【大谷芳久「行方不明後の《藤牧版画》の足跡（3）—藤牧版画の後摺りについて 17」15 - 24 頁】
第 34 号、2008 年 5 月 15 日

【大谷芳久「行方不明後の《藤牧版画》の足跡（4）—藤牧版画の後摺りについて 17」17 - 33 頁】
第 35 号、2008 年 8 月 30 日

【大谷芳久「行方不明後の《藤牧版画》の足跡（5）—藤牧版画の後摺りについて 17」16 - 29 頁】
第 36 号、2008 年 11 月 10 日

【大谷芳久「行方不明後の《藤牧版画》の足跡（6）—藤牧版画の後摺りについて 17」15 - 25 頁】
第 37 号、2009 年 2 月 20 日

【大谷芳久「行方不明後の《藤牧版画》の足跡（7）—藤牧版画の後摺りについて 17」14 - 29 頁】
第 38 号、2009 年 5 月 30 日

【大谷芳久「行方不明後の《藤牧版画》の足跡（8）—藤牧版画の後摺りについて 17」19 - 30 頁】

第 39 号、2009 年 8 月 30 日

【大谷芳久「行方不明後の《藤牧版画》の足跡 (9) —藤牧版画の後摺りについて 17」13 - 27 頁】

第 40 号、2009 年 11 月 30 日

【大谷芳久「行方不明後の《藤牧版画》の足跡 (10) —藤牧版画の後摺りについて 17」12 - 27 頁】

第 41 号、2010 年 3 月 15 日

【大谷芳久「行方不明後の《藤牧版画》の足跡 (11) —藤牧版画の後摺りについて 17」17 - 30 頁】

第 42 号、2010 年 6 月 10 日

【大谷芳久「行方不明後の《藤牧版画》の足跡 (12) —小野忠重とは—」15 - 30 頁】

第 43 号、2010 年 8 月 20 日

【大谷芳久「行方不明後の《藤牧版画》の足跡 (13) 終章」13 - 22 頁】

第 44 号、2010 年 11 月 30 日

【大谷芳久「十一番目の月が出た—「日本近代の青春 創作版画の名品」展—」12 - 18 頁、山田俊幸「『新版画』のことなど」37 - 39 頁、「大谷芳久著『藤牧義夫 真偽』刊行案内」40 頁】

第 46 号、2011 年 5 月 30 日

【大谷芳久「駒村吉重著『君は隅田川に消えたのか』刊行に寄せて」43 - 44 頁】